



EXCITING DUATHLON GRAND PRIX CalfMan Japan



カーフマンジャパン北関東ステージ 武蔵丘陵森林公園大会 大会速報

**強い！菊地次郎（山形泌尿器科クリニック）が圧勝、
女子も今泉奈緒美（grad5）が実力を発揮！**

第1回カーフマンジャパン、北関東ステージ・武蔵丘陵森林公園大会が、21日（日）公園内特設コースで、無風・快晴と絶好のコンディションのもと行われた。女子は2003デュアスロン日本選手権若狭路大会第2位の実力者、今泉奈緒美（grad5）が同僚の大河内智未（grad5）と第1ランの1周目から他を圧倒。今泉は2周めに入ると大河内をじりじりと引き離し約1分の差をつけバイクへ。得意のバイクで今泉は58分台という男子顔負けのラップを叩き出し、完全に独走態勢を築く。結局今泉が第2ランでも余裕の走りを見せ実力どおり北関東ステージを制した。

一方、女子から3分遅れでスタートした男子は、予想通り中田崇志（関東 RC / aminovital / puma）が先頭に飛び出す。南関東ステージでも圧倒的な速さで第1ランを走りぬけた中田であったが、今回、満を持して参加の菊地次郎（山形泌尿器科クリニック）が中田に追走、中田、菊池ともに15分台のラップでバイクへと移る。菊地はバイクに移ると、コーナー、アップダウン共に激しいこのコースでその強さを発揮、1周目で早くもトップに立つとぐんぐんと中田との差を広げる。第1ランを14位と出遅れたバイクのスペシャリスト、斉藤功（zelkova rc）もこの難コースで実力を発揮、ラップ1位の記録で2位までポジションをあげてバイクを終了した。斉藤以外に唯一9分台のラップでバイクを周回していた菊地はバイク終了時点で2位以下に2分半近い大差をつける。結局菊地は第2ランに入っても後続に一度もその後ろ姿を拝ませることなく、第1回北関東ステージを圧勝し、チャンピオンシップ優勝候補の最右翼として名乗りをあげた。また、2位争いは熾烈を極めた。一時は6位まで順位を落とした、中田崇志が深浦祐哉（守谷 ITC）と第2ランスタート時から激しいデッドヒート。最後の直線まで激しい戦いを演じ、体一つのリードを奪って中田が2位を死守した。

気象状況：天候 快晴 気温 11 風速風向無風 （12時現在）



この件に関するご質問は

カーフマン・ジャパンデュアスロン大会事務局 担当：清本 直

〒206-0802 東京都稲城市東長沼2-120-6 グランヴェルジェ104

TEL 042-379-5201 FAX 042-379-1992

URL <http://www.mspo.jp/calfman> E-mail calfman@mspo.jp

社団法人日本トライアスロン連合 <http://www.jtu.or.jp>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-9-10 青山キングビル3F

TEL 03-5469-5401 FAX 03-5469-5403